

例題 1

市町村国民健康保険（平成30年4月以降は都道府県等が行う国民健康保険）、全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）、組合管掌健康保険（組合健保）、共済組合を比較した次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 平成29年度において、加入者1人当たりの医療費が最も高いのは市町村国民健康保険であった。
- イ. 平成29年度において、加入者1人当たりの平均保険料が最も低いのは共済組合であった。
- ウ. 平成29年度において、加入者の平均年齢が最も高いのは組合健保であった。
- エ. 平成30年3月末現在、加入者数が最も多いのは協会けんぽであった。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. ウ, エ

正答番号 3

例題 2

児童自立支援施設に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。

それらはどれか。

- ア. 現在の児童自立支援施設の原型となっているのは、石井亮一により設立された感化院である。
- イ. 児童自立支援施設は、都道府県に設置が義務付けられている。
- ウ. 児童自立支援施設には、看護師及び心理療法担当職員の配置が義務付けられている。
- エ. 家庭裁判所の審判に付された少年は、保護処分として児童自立支援施設に送致される場合がある。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

正答番号 5